

令和7年度ヨーロッパザラボヤ等付着情報（第6報）

令和8年1月7日

発行:岩手県水産技術センター

協力機関:沿岸広域振興局水産部宮古水産振興センター
三陸やまだ漁業協同組合

- ・ヨーロッパザラボヤの付着数は前回調査（11月）より減少しました。
- ・ユウレイボヤの付着数は前回調査（11月）より増加しました。
- ・フジツボ類の付着数は前回調査（11月）より減少しました。
- ・フジツボ類の幼生は採集されませんでした。

<調査方法>

- 1 調査日:令和7年12月22日(前回調査:11月26日)
付着器投入期間:11月26日～12月22日(前回調査:10月28日～11月26日)
プランクトンネット曳網日:12月22日(前回調査:11月26日)
- 2 調査場所
山田湾 大島南端から西微南方向480m付近にある一区第136号に設置した標識灯付近
- 3 調査方法
 - ザラボヤ等付着状況調査
ホタテガイ貝殻を使用した付着器を水深5m、10m、15mに3枚ずつ取り付けしたロープを垂下し、1ヶ月ごとのヨーロッパザラボヤ(1mm以上)、ユウレイボヤ(1mm以上)の付着数を計数。付着器9枚(3水深×3枚)に付着した数を平均したものを平均付着数とした。
 - フジツボ類発生状況等調査
 - ・ザラボヤ等付着状況調査時にフジツボ類の付着数を計数。
 - ・北原式プランクトンネットを鉛直に20m曳網し、採集物の中からフジツボ類の幼生を計数。

<調査結果>

- ザラボヤ等付着状況調査
12月22日の水深5m、10m、15m層の水温は、各層とも11.8℃で(別紙 図1)、透明度は13m(前回12m)でした。
ヨーロッパザラボヤの付着器への平均付着数は2.8個体/枚で、前回調査(14.1個体/枚)より減少しました(別紙表1及び図2)。
ユウレイボヤの付着器への平均付着数は29.8個体/枚で、前回調査(13.3個体/枚)より増加しました(別紙 図2)。
- フジツボ類発生状況等調査
フジツボ類の付着器への平均付着数は4.3個体/枚で、前回調査(14.9個体/枚)より減少しました(別紙 図3)。
フジツボ類幼生は0.0個体/m³で、前回調査(2.5個体/m³)より減少しました(別紙 図3)。

お問合せ先
担当 増養殖部 田中

別紙

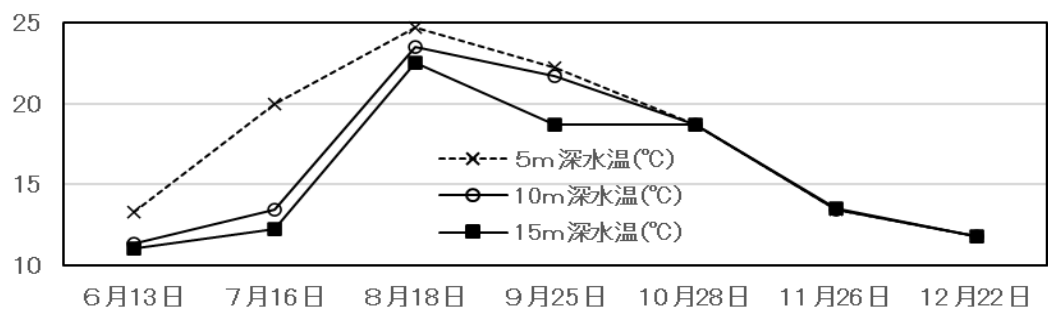


図1 5、10、15mの水温

表1 ヨーロッパザラボヤの平均付着数

	7月16日	8月18日	9月25日	10月28日	11月26日	12月22日
5m	11.3 個体/枚	0.3 個体/枚	2.0 個体/枚	10.7 個体/枚	29.0 個体/枚	2.7 個体/枚
10m	4.7 個体/枚	0.0 個体/枚	1.0 個体/枚	9.3 個体/枚	12.3 個体/枚	2.3 個体/枚
15m	38.3 個体/枚	8.3 個体/枚	0.0 個体/枚	0.3 個体/枚	1.0 個体/枚	3.3 個体/枚
平均	18.1 個体/枚	2.9 個体/枚	1.0 個体/枚	6.8 個体/枚	14.1 個体/枚	2.8 個体/枚

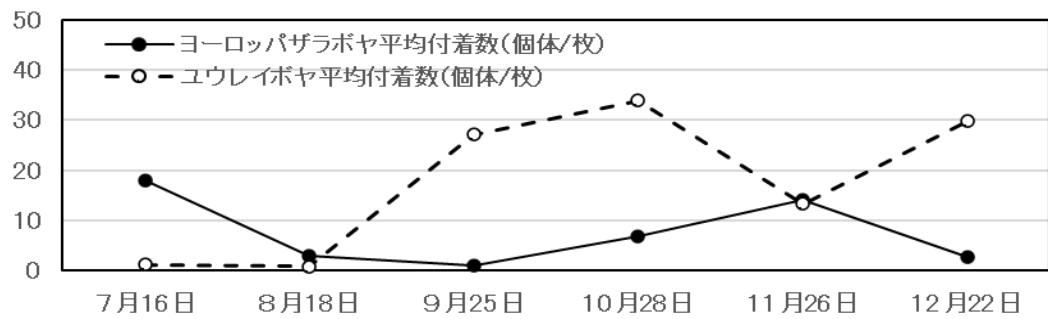


図2 ヨーロッパザラボヤ及びユウレイボヤの平均付着数

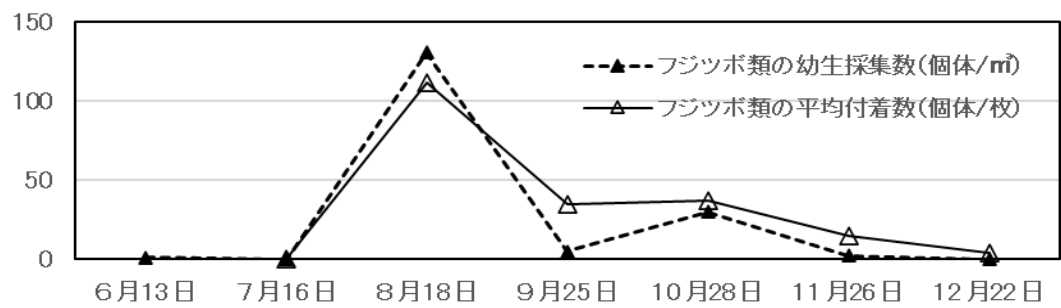


図3 フジツボ類の幼生採集数及び平均付着数